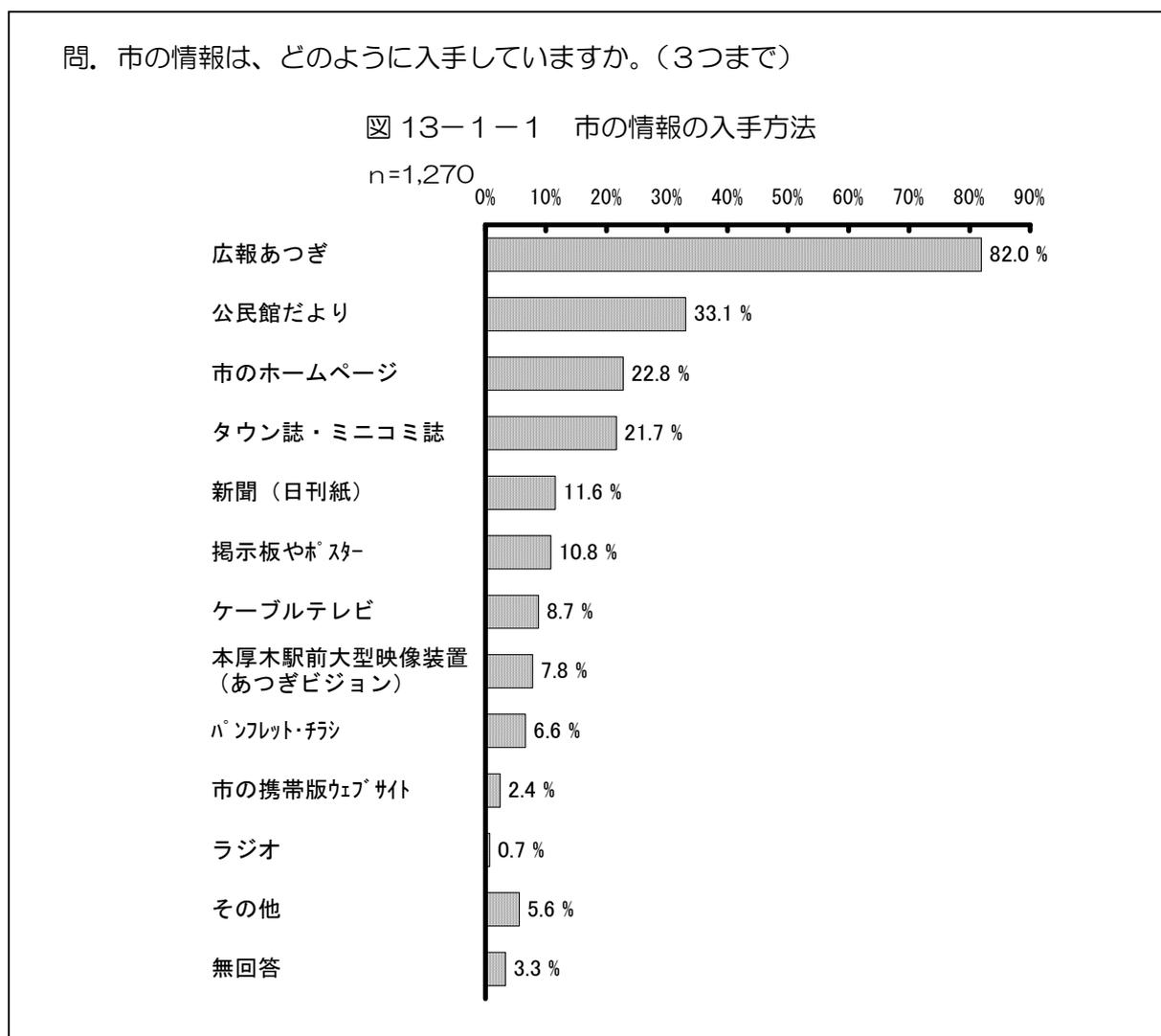


1.3 広報・広聴

(1) 市の情報の入手方法（A：問26）



【全体】

市の情報の入手方法について聞いたところ、「広報あつぎ」（82.0%）が8割を超え、特に高くなっている。

次いで、「公民館だより」（33.1%）、「市のホームページ」（22.8%）、「タウン誌・ミニコミ誌」（21.7%）、「新聞（日刊紙）」（11.6%）となっている。

【経年変化】

経年変化は参考に記載するものとする。

表 13-1-1 市の情報入手—経年変化

(単位：%)	平成 25 年度 (n=1, 270)	平成 23 年度 (n= 814)	平成 21 年度 (n=1, 610)	平成 19 年度 (n=1, 506)	平成 17 年度 (n=1, 008)
広報あつぎ	82.0	77.8	83.7	83.2	84.9
市のホームページ	22.8	22.5	13.1	11.0	12.3
公民館だより	33.1	21.6	27.1	25.6	28.8
タウン誌・ミニコミ誌	21.7	12.0	15.8	13.1	8.3
新聞（日刊紙）	11.6	8.2	8.6	11.5	2.6
本厚木駅前大型映像装置 （あつぎビジョン）	7.8	4.7	—	—	—
掲示板やポスター	10.8	4.5	4.0	3.1	9.6
ケーブルテレビ	8.7	3.8	6.0	8.6	2.2
パンフレット・チラシ	6.6	2.5	2.4	2.3	0.2
市の携帯版ウェブサイト	2.4	1.6	1.0	0.7	0.7
ラジオ	0.7	0.1	0.6	0.4	5.8
その他	5.6	3.6	1.5	0.7	0.7
特に情報は得ていない	—	—	7.3	4.8	1.1
無回答	3.3	4.1	1.7	2.1	15.3

（注）平成 23 年度調査までは2つまでを選ぶ設問であったが、今回の調査では3つまで選ぶ設問としている。また、平成 23 年度調査から「本厚木駅前大型映像装置（あつぎビジョン）」を選択肢として追加し、「特に情報は得ていない」は、削除している。

【属性別】

性別で見ると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別で見ると、「広報あつぎ」は、60歳以上で9割以上と高い結果となっている。

「市のホームページ」は、30歳代が44.9%と最も高くなっている。

また、「公民館だより」は、60歳以上で4割を超え高い回答となっている。一方、49歳以下では、3割以下となっている。

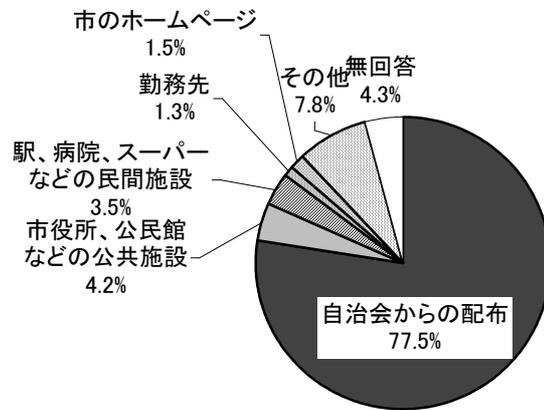
表 13-1-2 市の情報入手—性別、年齢別

(単位：%)	広報あつぎ	市のホームページ	市の携帯版 ウェブサイト	本厚木駅前大型映像装置 (あつぎビジョン)	公民館だより	ラジオ	パンフレット・チラシ	掲示板やポスター	新聞(日刊紙)	ケーブルテレビ	タウン誌・ミニコミ誌	その他	無回答
全体 (n=1,270)	82.0	22.8	2.4	7.8	33.1	0.7	6.6	10.8	11.6	8.7	21.7	5.6	3.3
男性 (n=556)	81.3	23.9	2.3	6.5	33.6	0.5	7.6	11.5	13.5	9.2	19.8	5.9	4.1
女性 (n=685)	82.3	22.0	2.6	8.8	33.0	0.9	5.7	9.8	10.1	8.0	23.5	5.3	2.6
20歳未満 (n=15)	66.7	26.7	6.7	40.0	20.0	0.0	6.7	20.0	0.0	0.0	13.3	6.7	6.7
20~29歳 (n=100)	51.0	35.0	2.0	19.0	8.0	1.0	5.0	18.0	13.0	5.0	19.0	13.0	3.0
30~39歳 (n=185)	67.0	44.9	4.9	14.6	11.9	2.2	7.0	13.0	4.3	10.3	16.2	3.8	2.7
40~49歳 (n=191)	79.6	30.4	4.7	6.8	23.0	0.5	7.9	9.9	7.3	4.7	24.1	6.3	2.6
50~59歳 (n=186)	82.8	30.1	2.2	5.9	30.6	0.5	7.5	8.1	9.1	9.7	18.8	5.9	3.2
60~69歳 (n=310)	92.3	8.4	1.6	3.9	45.8	0.3	6.5	10.3	14.8	10.0	26.5	4.2	4.2
70~79歳 (n=190)	93.7	8.9	0.0	4.2	52.6	0.5	4.2	10.0	15.3	9.5	24.2	4.7	3.7
80歳以上 (n=76)	92.1	10.5	1.3	2.6	51.3	0.0	9.2	3.9	25.0	9.2	17.1	5.3	2.6

(2)「広報あつぎ」の入手方法（A：問27）

問.「広報あつぎ」をどのように入手していますか。（1つだけ）

図 13-2-1 「広報あつぎ」の配布



n=1,270

【全体】

「広報あつぎ」の入手方法について聞いたところ、「自治会からの配布」（77.5%）が8割に近く、特に高くなっている。

【経年変化】

新規設問であるため、経年変化は記載していない。

【属性別】

性別で見ると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別で見ると、20～39歳では「自治会からの配布」は5割台となり、他の年代では7割以上と高い結果となっている。

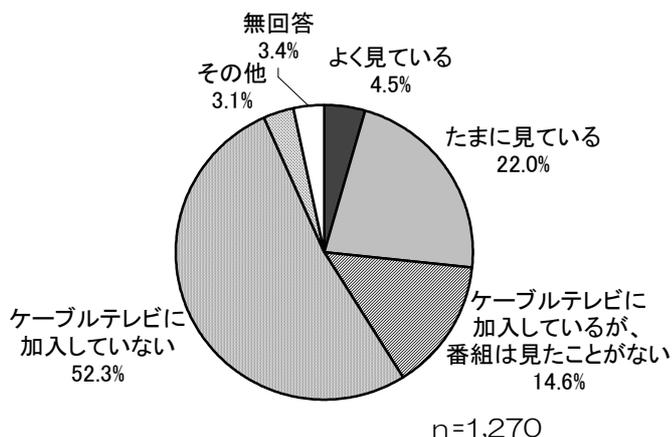
表 13-2-1 「広報あつぎ」の配布—性別、年齢別

(単位：%)	自治会からの配布	市役所、公民館 などの公共施設	駅、病院、スーパー などの民間施設	勤務先	市のホームページ	その他	無回答
全体 (n=1,270)	77.5	4.2	3.5	1.3	1.5	7.8	4.3
男性 (n=556)	77.3	4.7	3.8	0.9	1.6	8.1	3.6
女性 (n=685)	77.8	3.8	3.4	1.5	1.5	7.6	4.5
20歳未満 (n=15)	86.7	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0
20～29歳 (n=100)	55.0	1.0	5.0	5.0	3.0	24.0	7.0
30～39歳 (n=185)	56.8	7.0	8.6	4.9	3.8	15.1	3.8
40～49歳 (n=191)	77.5	3.7	4.7	0.5	2.1	9.4	2.1
50～59歳 (n=186)	80.6	5.4	2.2	0.0	1.6	4.8	5.4
60～69歳 (n=310)	86.8	2.9	2.3	0.0	0.6	3.9	3.5
70～79歳 (n=190)	88.4	5.3	1.1	0.0	0.0	1.6	3.7
80歳以上 (n=76)	85.5	2.6	1.3	0.0	0.0	3.9	6.6

(3) ケーブルテレビ「あつぎ元気 Wave」の視聴頻度（A：問 28）

問. ケーブルテレビの「あゆチャンネル」で放映している市提供番組「あつぎ元気 Wave」を見たことがありますか。（1つだけ）

図 13-3-1 ケーブルテレビ「あつぎ元気 Wave」の視聴頻度



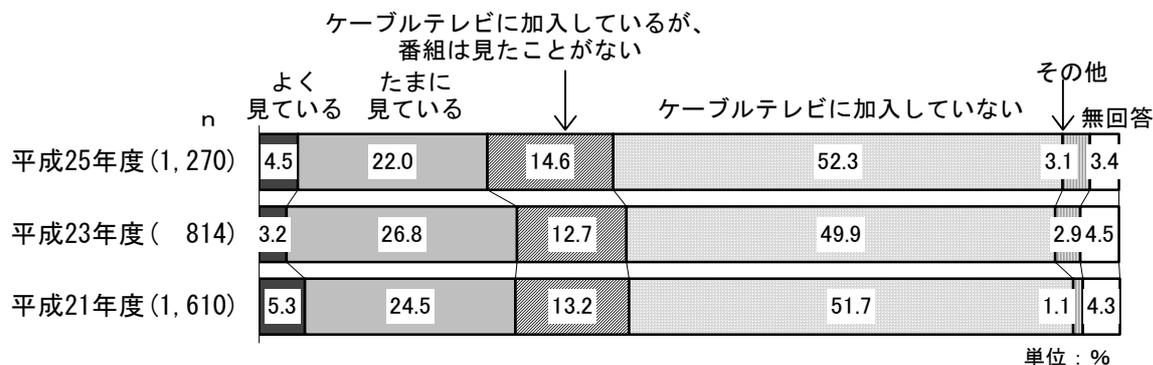
【全体】

ケーブルテレビ「あつぎ元気Wave」の視聴頻度について聞いたところ、「よく見ている」（4.5%）、「たまに見ている」（22.0%）を合わせた『見ている』（26.5%）となっている。一方、「ケーブルテレビに加入していない」（52.3%）が半数を超え、「ケーブルテレビに加入しているが、番組は見たことがない」（14.6%）が1割程度となっている。

【経年変化】

経年による大きな変化は見られない。

図 13-3-2 ケーブルテレビ「あつぎ元気 Wave」の視聴頻度—経年変化

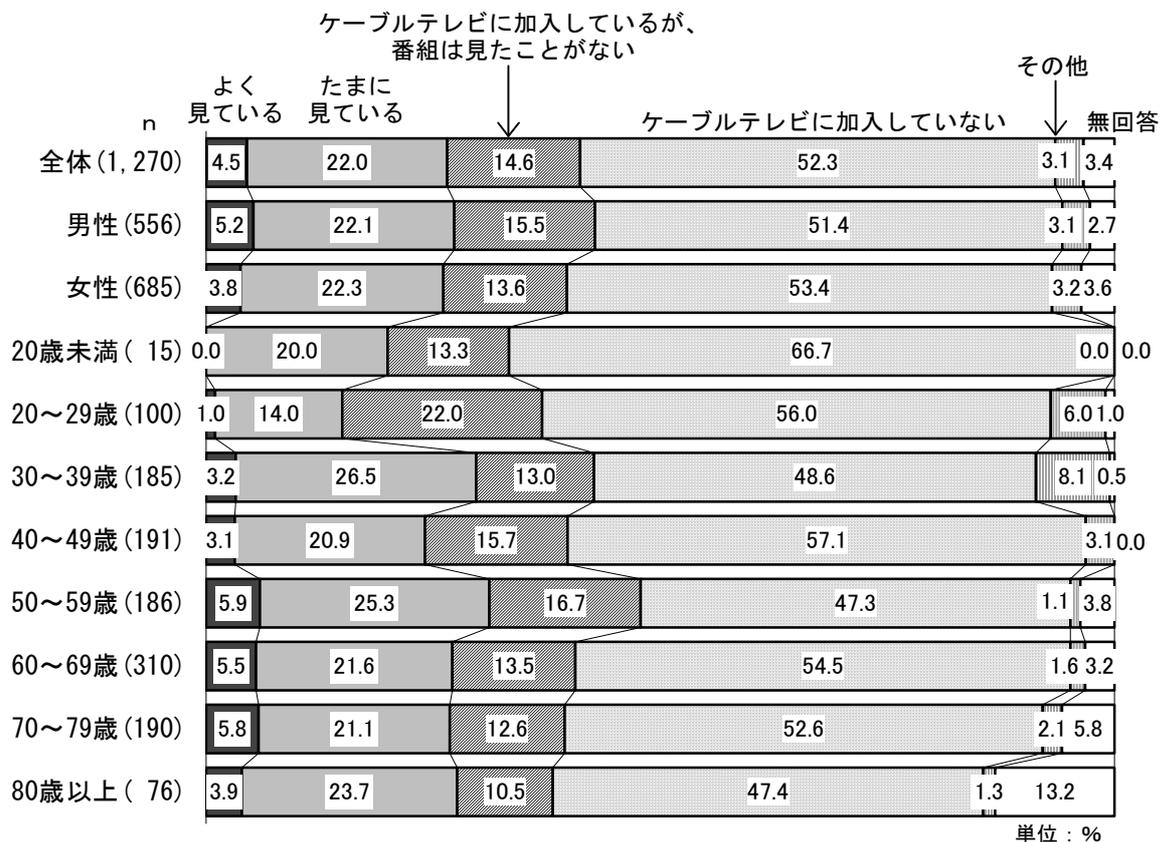


【属性別】

性別で見ると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別で見ると、50歳代で「よく見ている」（5.9%）、「たまに見ている」（25.3%）を合わせた『見ている』（31.2%）が、最も高くなっている。

図 13-3-3 ケーブルテレビ「あつぎ元気 Wave」の視聴頻度—性別、年齢別

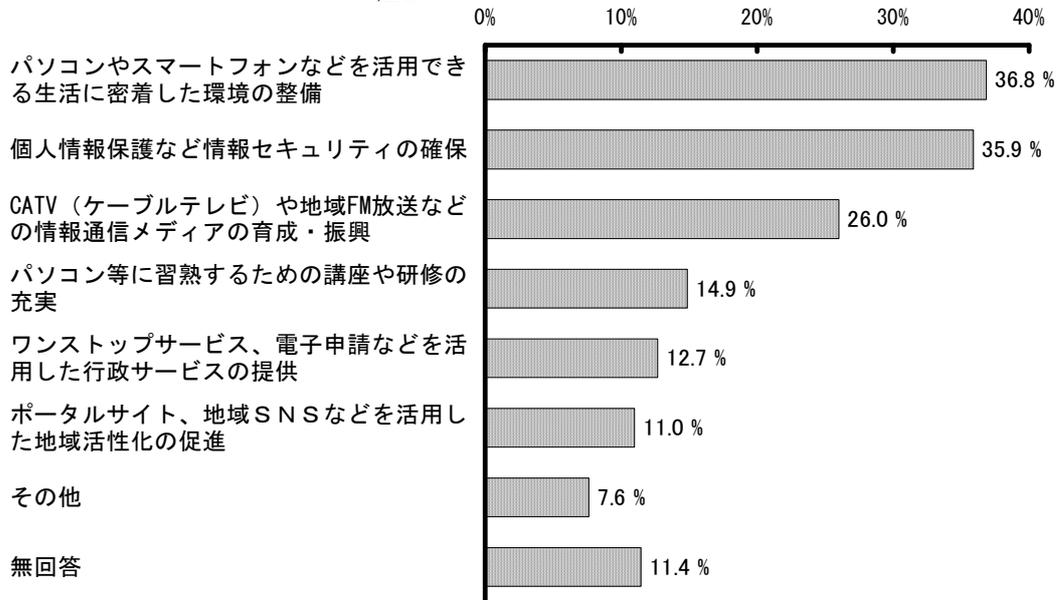


(4) 行政サービスの情報化・ICT化（B：問22）

問. 行政サービスの情報化を推進するために何を優先するべきだと考えますか。（2つまで）

図 13-4-1 行政サービスの情報化・ICT化

n=1,284



【全体】

行政サービスの情報化を推進するために何を優先すべきか聞いたところ、「パソコンやスマートフォンなどを活用できる生活に密着した環境の整備」（36.8%）が最も高くなっている。

次いで、「個人情報保護など情報セキュリティの確保」（35.9%）、「CATV（ケーブルテレビ）や地域FM放送などの情報通信メディアの育成・振興」（26.0%）となっている。

【経年変化】

前回調査との比較では、「パソコンやスマートフォンなどを活用できる生活に密着した環境の整備」（36.8%）が、前回に比べて14.8ポイント増加している。

表 13-4-1 行政サービスの情報化・ICT化—経年変化

(単位：%)	平成 25 年度 (n=1,284)	平成 23 年度 (n= 814)	平成 21 年度 (n=1,610)	平成 19 年度 (n=1,506)
CATV（ケーブルテレビ）や 地域 FM 放送などの 情報通信メディアの育成・振興	26.0	27.9	19.1	20.3
パソコンや スマートフォンなどを活用できる 生活に密着した環境の整備	36.8	22.0	8.0	7.1
パソコン等に習熟するための 講座や研修の充実	14.9	17.7	13.4	14.3
ワンストップサービス、 電子申請などを活用した 行政サービスの提供	12.7	17.0	23.1	16.4
個人情報保護など 情報セキュリティの確保	35.9	34.3	29.4	26.6
ポータルサイト、 地域 SNS などを活用した 地域活性化の促進	11.0	9.1	-	-
ユビキタス（いつでも、どこでも、 だれでも利用できるシステム）の促進	-	-	31.0	27.2
IT 関連企業、研究機関などの誘致	-	-	9.8	8.0

(注) 選択肢が異なるため、平成 21 年度調査以前は参考までに掲載している。

【属性別】

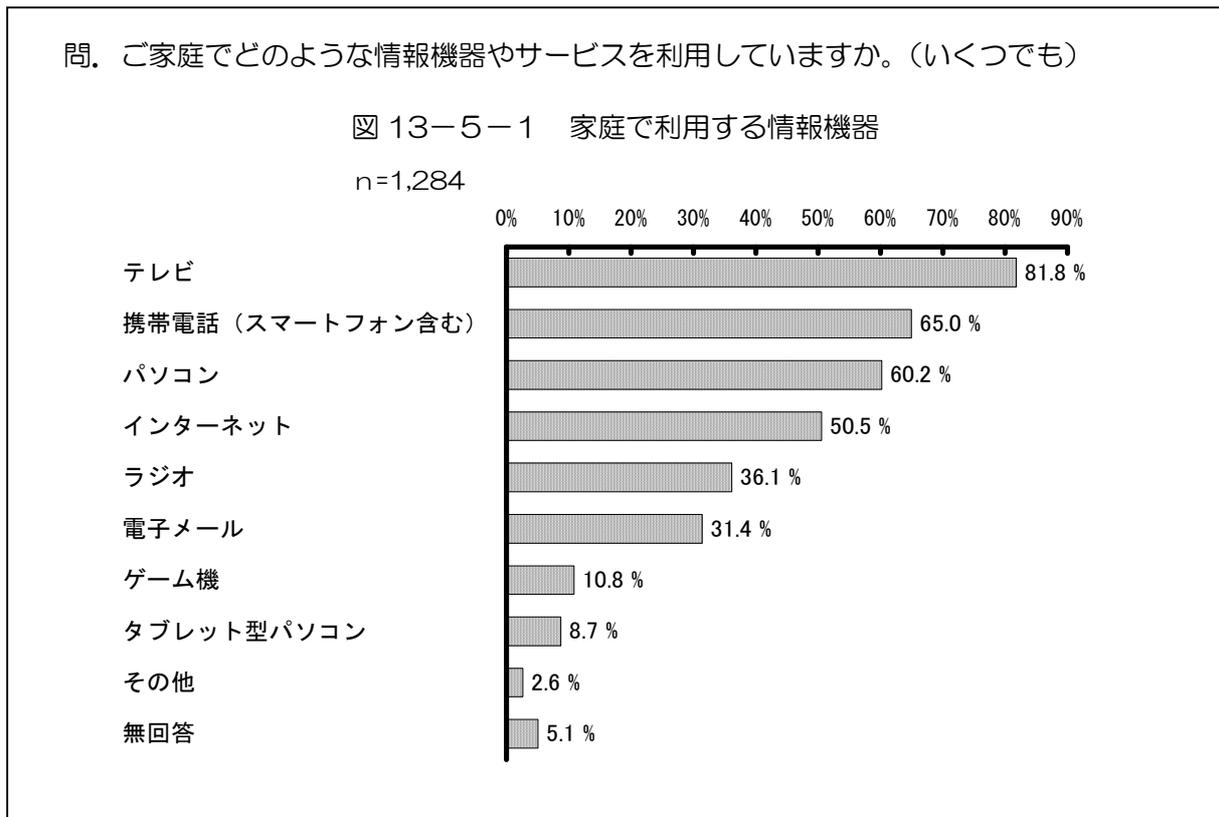
性別で見ると、女性では「個人情報保護など情報セキュリティの確保」（41.8%）で、男性よりも13.6ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、49歳以下では「パソコンやスマートフォンなどを活用できる生活に密着した環境の整備」との回答が4割以上と高くなっている。50歳代では、「CATV（ケーブルテレビ）や地域FM放送などの情報通信メディアの育成・振興」（31.3%）が最も高く、60歳代では、「パソコン等に習熟するための講座や研修の充実」が最も高くなっている。

表 13-4-2 行政サービスの情報化・ICT化—性別、年齢別

(単位：%)	地域FM放送などの情報通信メディアの育成・振興	CATV（ケーブルテレビ）や生活に密着した環境の整備	パソコンやスマートフォンなどを活用できる	パソコン等に習熟するための講座や研修の充実	電子申請などを活用した行政サービスの提供	ワンストップサービス、	個人情報保護など情報セキュリティの確保	ポータルサイト、地域SNSなどを活用した地域活性化の促進	その他	無回答
全体 (n=1,284)	26.0	36.8	14.9	12.7	35.9	11.0	7.6	11.4		
男性 (n=560)	28.2	38.0	14.6	14.5	28.2	11.6	10.4	10.9		
女性 (n=697)	24.7	36.3	15.2	11.2	41.8	10.6	5.5	11.8		
20歳未満 (n=15)	20.0	73.3	6.7	20.0	46.7	6.7	13.3	0.0		
20～29歳 (n=126)	19.8	47.6	15.1	17.5	28.6	25.4	5.6	4.8		
30～39歳 (n=170)	15.3	52.9	11.8	17.6	41.2	13.5	5.3	4.1		
40～49歳 (n=224)	29.5	54.0	10.3	18.3	36.6	9.8	3.1	5.8		
50～59歳 (n=176)	31.3	38.6	9.7	12.5	35.2	9.1	10.2	9.1		
60～69歳 (n=276)	29.0	26.1	24.3	10.1	36.6	8.3	8.0	12.3		
70～79歳 (n=204)	27.0	17.6	16.2	5.4	34.3	8.8	10.3	23.0		
80歳以上 (n=73)	28.8	11.0	15.1	5.5	34.2	6.8	13.7	27.4		

(5) 家庭で利用する情報機器 (B: 問 23)



【全体】

家庭でどのような情報機器やサービスを利用しているか聞いたところ、「テレビ」(81.8%)が8割を超えて最も高くなっている。次いで、「携帯電話(スマートフォン含む)」(65.0%)、「パソコン」(60.2%)、「インターネット」(50.5%)などが5割を超えて高くなっている。

【経年変化】

選択肢が異なるため、経年変化は掲載していない。

【属性別】

性別で見ると、女性では「テレビ」（85.9%）が、男性よりも8.9ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、59歳以下では「パソコン」、「携帯電話（スマートフォン含む）」、「テレビ」、「インターネット」の4項目が全て5割を超えて高い結果となっている。

表 13-5-1 家庭で保有する情報機器—性別、年齢

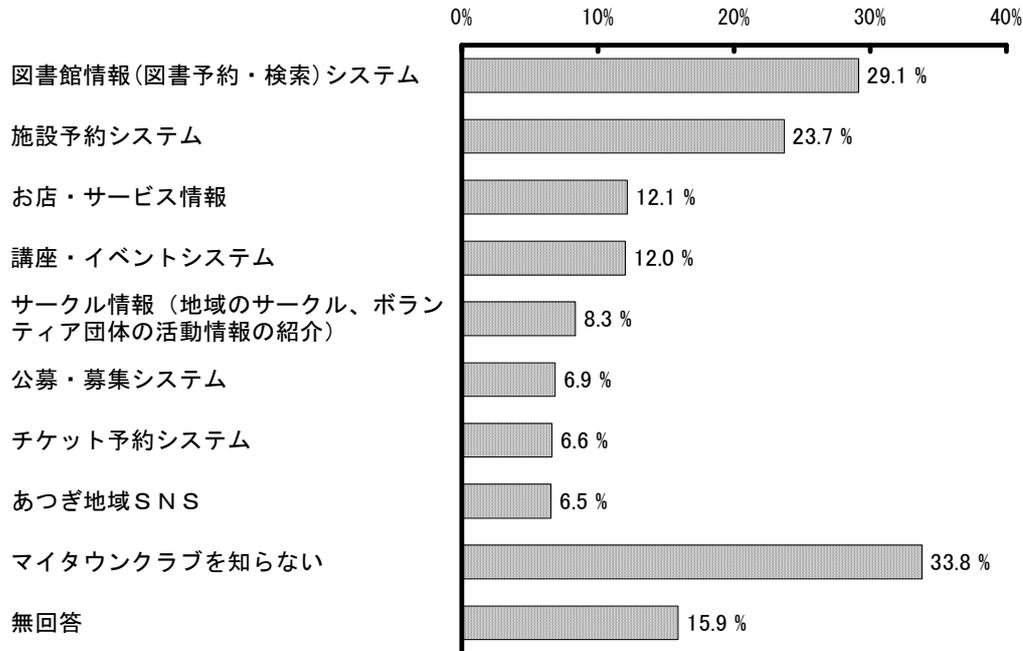
(単位：%)	パソコン	タブレット型パソコン	携帯電話 (スマートフォン含む)	テレビ	ラジオ	ゲーム機	インターネット	電子メール	その他	無回答
全体 (n=1,284)	60.2	8.7	65.0	81.8	36.1	10.8	50.5	31.4	2.6	5.1
男性 (n=560)	62.7	9.3	62.5	77.0	35.4	9.8	51.1	32.7	3.4	5.7
女性 (n=697)	59.1	8.5	67.3	85.9	37.0	11.9	50.6	30.7	1.9	4.0
20歳未満 (n=15)	73.3	13.3	86.7	80.0	20.0	20.0	73.3	33.3	6.7	0.0
20～29歳 (n=126)	81.7	11.1	92.9	78.6	22.2	28.6	67.5	44.4	1.6	1.6
30～39歳 (n=170)	77.1	13.5	85.9	80.0	28.8	21.2	68.8	46.5	0.6	1.8
40～49歳 (n=224)	79.5	17.4	83.9	81.3	31.3	18.3	70.5	51.3	2.2	3.6
50～59歳 (n=176)	60.2	9.1	67.0	84.1	38.6	6.3	52.3	28.4	2.8	4.5
60～69歳 (n=276)	50.7	5.1	51.1	84.8	44.9	2.2	37.3	22.5	3.6	4.7
70～79歳 (n=204)	39.2	1.5	39.2	79.9	43.6	1.5	29.4	10.8	2.0	8.3
80歳以上 (n=73)	19.2	1.4	26.0	86.3	38.4	1.4	15.1	12.3	6.8	12.3

(6)「マイタウンクラブ」の認知度（B：問24）

問. 市インターネットサービス「マイタウンクラブ」が提供しているサービスで、利用したことのある、または知っているサービスは何ですか。（いくつでも）

図 13-6-1 「マイタウンクラブ」の認知度

n=1,284



【全体】

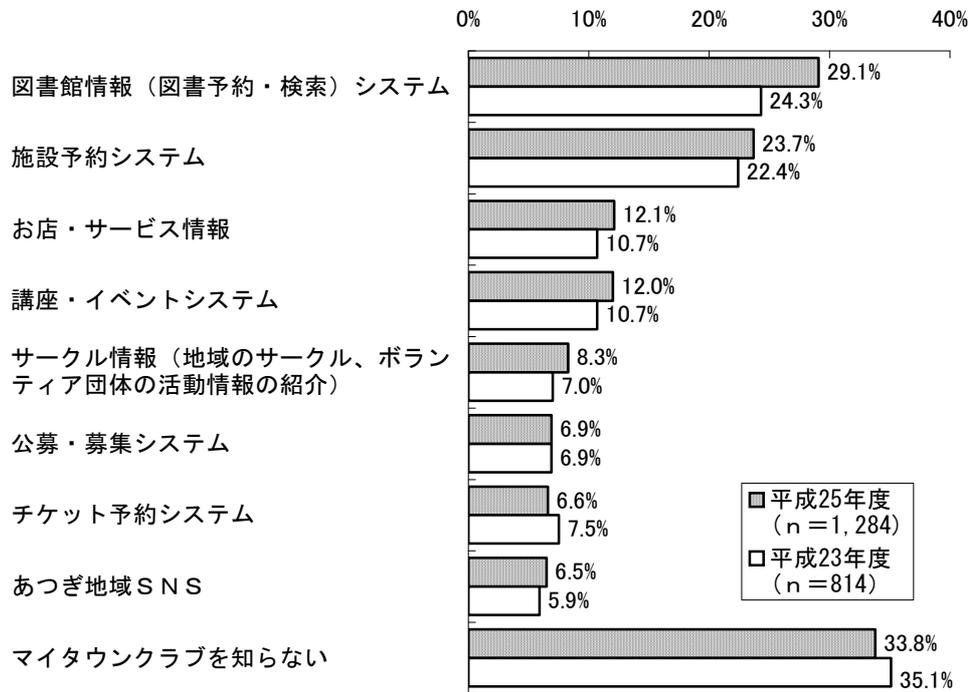
市インターネットサービス「マイタウンクラブ」が提供しているサービスで、利用したことのある、または知っているサービスについて聞いたところ、『利用したことのある、または知っているサービス』としては、「図書館情報(図書予約・検索)システム」(29.1%)が最も高く、次いで「施設予約システム」(23.7%)、「お店・サービス情報」(12.1%)、「講座・イベントシステム」(12.0%)と続いている。

一方、「マイタウンクラブを知らない」が33.8%となっている。

【経年変化】

経年による大きな変化は見られない。

図 13-6-2 「マイタウンクラブ」の認知度—経年変化



【属性別】

性別で見ると、女性では「図書館情報（図書予約・検索）システム」（33.4%）が、男性よりも9.1ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、49歳以下では「図書館情報（図書予約・検索）システム」の回答が、3割を超えて高くなっている。

表 13-6-1 「マイタウンクラブ」の認知度—性別、年齢別

(単位：%)	図書館情報 (図書予約・検索)システム	施設予約システム	講座・イベントシステム	公募・募集システム	サークル情報（地域のサークル、ボランティア団体の活動情報の紹介）	チケット予約システム	お店・サービス情報	あつぎ地域SNS	マイタウンクラブを知らない	無回答
全体 (n=1,284)	29.1	23.7	12.0	6.9	8.3	6.6	12.1	6.5	33.8	15.9
男性 (n=560)	24.3	22.0	9.8	6.6	6.3	5.4	11.6	6.6	36.4	17.0
女性 (n=697)	33.4	25.3	14.1	7.2	10.2	7.5	12.8	6.7	31.7	14.2
20歳未満 (n=15)	66.7	33.3	13.3	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7	6.7	13.3
20～29歳 (n=126)	49.2	29.4	4.0	6.3	4.8	3.2	7.1	5.6	31.7	4.8
30～39歳 (n=170)	33.5	23.5	11.8	4.1	5.9	4.1	12.9	7.6	37.1	7.6
40～49歳 (n=224)	39.3	34.4	17.0	10.3	8.9	5.4	10.7	9.4	29.9	9.4
50～59歳 (n=176)	23.9	15.9	13.1	4.5	6.8	6.3	12.5	4.5	41.5	14.2
60～69歳 (n=276)	21.0	23.2	11.6	9.4	11.2	9.1	15.2	7.2	34.4	18.5
70～79歳 (n=204)	19.1	17.6	10.3	4.4	10.3	9.3	11.3	5.9	30.9	27.5
80歳以上 (n=73)	20.5	20.5	17.8	9.6	8.2	8.2	13.7	2.7	32.9	30.1